

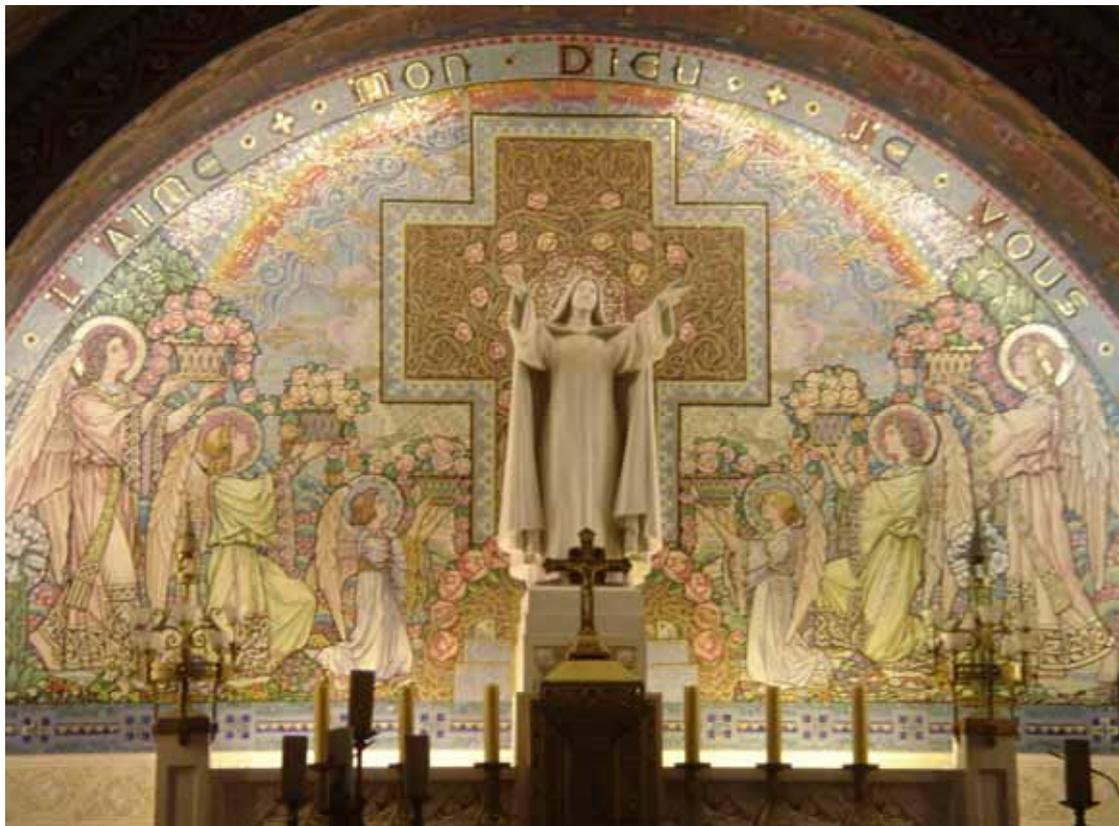


からしだね

2013年
2月号(480号)

キリストの受難
カトリック池田教会

共同宣教司牧: 畠 基幸神父・染野治雄神父
協力司祭: デニス・マックゴワン神父
住所 : 〒563-0041 池田市満寿美町9-26
TEL : 072-751-2400 FAX : 072-753-4624
URL(ホームページ) :
http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/



巻頭言	2	典礼委員会から	2
ガラスケースの言葉	2	クリスマス会	3
社会活動委員会から	3	新成人の祝福	4
広報委員会から	4	からしだね俳壇	5
宝塚黙想の家から	6	表紙写真説明	6
からしだね訂正とお詫び	6		

表紙写真 : フランス リジューのバジリカ 地下聖堂 撮影 : 坂野美穂

※ 聖堂入り口で配布しているものからの抜粋版です
完全版をご希望の方は、お近くの広報委員までお問い合わせください

巻頭言

イエズスを知る

デニス神父

人を知るための最小の条件は、会って、いろいろ聞いたり、答えたり、話すことだと思います。

だから、例えば、教皇ベネディクト16世を私は知らないのです。テレビで見たことがある。テレビで話を聞いたことがある。書いたものを読んだこともある。尊敬している。しかし本当は知らないのです。

同じようにイエズスを知らない人の中に、キリスト信者が沢山いると思います。イエズス様についてよく考えたその上で、聖書研究をしたこともあります。しかし心からイエズス様と話すことは、少ないかもしれません。(この前の日曜日の御ミサの間は、あなたははどうでしたか?)

イエズス様を知るために、イエズス様と良く話す必要があります。まずイエズス様は、私たちの話を聞きたいと信じる必要があります。今まであまり話していないのは、そのためかもしれません。

話し方を手伝える方法が一つあります。イエズス様の周りの人たちの代わりに、話してみたらいいでしょう。例えば、ジェリコの道端に座っている盲人のように、娘が病気で危ないお父さんのように、十字架のそばに立っていたヨハネとマグダラのマリアのように、イエズス様を知らないと言った後のペトロのように。しかし一番大切なのは、自分の自由な気持ちで、イエズス様と話すことです。

ウィリアム・H・ハントの有名な絵があります。門が閉まっています。外からあける取っ手はないのです。イエズス様がノックして、入りたいのです。ちょうど黙示録3-20の意味です。「わたしは戸口に立ってたたいている。もし、だれかがわたしの声を聞いて戸を開くならば、わたしは彼のもとに入ってともに食事をし、その人もまたわたしとともに食事をする。」

イエズス様には、あなたに話したいことが沢山あります。



典礼委員会から

- ◎ 今年の復活祭は3月31日です。
- ◎ 2月13日は、灰の水曜日です。ミサと灰の式は19:30からです。昨年のお枝は、2月10日(日)までに回収ケースに入れてください。
- ◎ 十字架の道行は、2月15日から3月29日まで、毎週金曜日の10:00と19:30に行われます。なお、3月29日は聖金曜日のため10:00のみです。

2月ガラスケースの言葉

明日のことを思いわずらうな
明日のことは明日自身が思いわずらうであらう

マタイ6:34



クリスマス会 (12月16日)



社会活動委員会から

バザーの商品は、今は受けつけておりません。
家に保管下さり、ガレージセールやバザーの1ヶ月ほど前に
案内があつてから教会にお持ち下さい。



新成人の祝福（1月13日）



広報委員会から

● 投稿文の掲載について

からしだね1月号の投稿文について、「一部の偏った考えを、公の新聞に載せてほしくない」と、一人の信徒さんから意見がよせられました。投稿文についての広報委員会の基本的な考えは、個人への攻撃・中傷がない限り、削除・訂正はせずに掲載します。また、反対意見がありましたら、記名でそれも掲載します。この件につき、ご意見があればお寄せください。私達は、毎月、池田教会の情報をお知らせするために頑張っています。ご理解いただきますようお願いいたします。

● 「からしだね」の電子版

広報紙「からしだね」は、聖堂入り口にて、印刷したものを配布していますが、電子版をご希望の方には、メールでお送りする事が出来ます。

ご希望の方は、広報委員会へ、メールアドレスを添えて、お申し込みください。

● 表紙写真の募集

毎月の「からしだね」の表紙には、信者さん撮影の教会の写真を載せています。皆さんが巡礼に行かれた時、他教会へ行かれた時に写された写真をお寄せください。広報委員会一同、楽しみに待っています。よろしくお願ひします。



かうしたぬい壇

松本善一

乳女車眠る双子の冬帽子

順番のせうやく呼ばれスウ取る

大西秀子

狭庭にも余り日ゆたか梅ふふむ

北風や合格祈願の絵馬か鳴る

原田寛子

胸元に散葉こぼし冬籠る

幼子も頸立てている聖夜かな

馬場とよ

福島の庵がそめ行く初月かな

山眠る生まとし生けるもの抱きて



亀甲表秋子

大寒や星のいくつか落ちさうな

着がくれて言ひたすことを控えをり

村嶋伸子

祈りとほ雪の解けゆくことに似て

目覚めれど抜けがたし夜具ぬくもりて

森山真美子

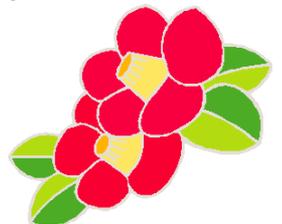
初暦まじ見ぬ日日の綴じられて

鳴り声の樹に絡まりしかんからうす寒鴉

岩尾純枝

くれなひの蔓の繞りやシララメン

凍て土に一寸青きもの生れ



宝塚黙想の家から 黙想会のお知らせ

私たち、キリスト者に与えられている宝は、神のみことばである聖書です。
黙想の家では、毎月みことばを深く味わう集いを行っています。
宝は大事にしたいですね。

■ 日帰り黙想会

2月21日(木) 10:00～15:30

指導：山内十束神父 費用：3,300円

2月22日(金) 10:00～15:30

指導：山内十束神父 費用：3,300円

■ 四旬節黙想

2月23日(土)17:00～24日(日)15:30 指導：山内十束神父 費用：8,800円

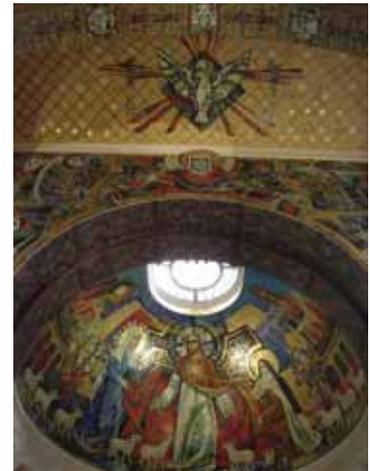
申し込みは、黙想の家まで TEL. 0797-84-3111

【表紙写真説明】

フランス リジューのバジリカ 地下聖堂

「駅から大聖堂の屋根が見える」というMikaという人のブログの情報だけを頼りに、パリから1時間半ほど電車に乗ってたどり着いたリジューは、私の守護の聖人でもある、小さきテレジアゆかりの地です。小さな田舎町に突如として現れたバジリカ(大聖堂)は、パリやローマにあるような大きくて豪華なものでしたが、正面にイエズス様とマリア様と聖テレジアのモザイク画(写真右)があり、さすが聖テレジアのために捧げられた聖堂だな～と思いました。

巡礼地ということもあって、聖テレジアが住んでいた家、通っていた教会、所属していたカルメル修道院を見て回ることができましたが、私が一番気に入ったのは、バジリカの地下聖堂(表紙写真)。モザイクのかわいらしい聖堂で、正面に聖テレジアの御像があり、リジューの街を歩いた後は、ずっとこの聖堂に座っていました。帰りの電車の時間が、非常に恨めしかったです。(坂野美穂)



◎ からしだね1月号 訂正とお詫び

(5ページ目) 地区委員会から(植木剪定のお手伝いのお礼)

4行目(誤) 染野神父様や途中お戻りになった畠神父様もお手伝いくださいました。

⇒(正) 途中お戻りになった畠神父様もお手伝いくださいました。

(7ページ目) 教会にお米180キロを寄付

1行目(誤) 国の重要文化財の森村邸 ⇒(正) 森村家

10行目(誤) 杉山さん ⇒(正) 小杉さん

編集後記

池田教会での「信仰年」の取り組みは、ミサ中に一同が公平に参加していることです。これは良いことだと思います。ミサ後の分かち合いだと、どうしても各委員会などで参加できない等がありますから。また、「信仰年」を理解するうえでの書籍、『カトリック教会のカテキズム』(1992年公布)とその要約版である『カトリック教会のカテキズム要約 598のQ&A』(2005年公布)を、信者歴〇△年の方や、まだこれからだという方も、どうぞ手に取って下さい。「信仰年」を一層理解して頂けるでしょう。この『からしだね』も「信仰年」に、役にたてればと思います。(天使の微笑)